

地域経済セミナー

鉄道は誰のものか？

そもそも鉄道とは何か。ほかの交通手段とは何が異なるのか。どうして鉄道は公共的性格をもつのか。鉄道の主体は何か。国家なのか、民間なのか。今日に至るまで論争は尽きていない。もし鉄道が赤字になった場合に、それはどのように解決したら良いのか。

鉄道の生誕地、イギリスをケースに、その歴史的背景とさまざまな取り組みを紹介し、今日における鉄道の社会的使命について考えてみたい。

2019.3.15 

15:30～17:00

● **場所** 釧路公立大学 1階 第1会議室
(釧路市芦野4丁目1番1号)

● **講師** ゆざわ たけし 湯沢 威 氏 (学習院大学名誉教授)

1940年生まれ。1965年京都大学文学部西洋史学科卒業、1971年一橋大学経済学研究科博士課程修了後、同大学助手などを経て、1978年から学習院大学経済学部教授、2011年同大学退職。学習院大学名誉教授。

単著『イギリス鉄道経営史』、『ブラッドショー初期英国鉄道地図』、編著『イギリス経済史：盛衰のプロセス』、共著『国際競争力の経営史』ほか、著書、論文多数。

● 申込方法

参加を希望される方は、3月11日(月)までに、別紙の参加申込書をFAXで送信いただくか、Eメールでお申込みください(申込書は地域経済研究センターのホームページからダウンロードできます)。

● あて先

釧路公立大学 地域経済研究センター
TEL:0154-37-5325(直通) FAX:0154-37-5376
E-mail:r-center@kushiro-pu.ac.jp

主催

釧路公立大学地域経済研究センター
釧路公立大学地域分析研究委員会

— イギリスを中心として —